

11月11日～12月12日
電池月間



でんち

社団法人 **電池工業会**

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8
機械振興会館内

電話 (03) 3434-0261 (代)

E-mail. bajapan@hi-ho.ne.jp

ホームページ <http://www.baj.or.jp/>

振替口座 東京8-91022

発行人 木村侃丘

定価1部郵送による年決め2,400円

平成15年4月1日

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

平成14年度 第3回二次電池部会開催



平成15年3月12日、機械振興会館において山崎部会長を議長に、第3回二次電池部会が開催された。

冒頭に、山崎部会長から挨拶があり、続いて木村専務理事から事務局報告、そして各委員会委員長から平成14年度活動報告と平成15年度活動計画案の審議が行われた。後半では、関係者による自動車鉛電池の新リサイクルプログラムについて審議が行われた。

1. 山崎部会長挨拶

本日の部会は、年度末であり各委員会の活動報告と次年度活動計画の提案と審議を行う。

後半では、鉛5社の関係者による自動車用鉛電池リサイクルプログラムの審議を行う。

2. 事務局報告

1) 廃掃法の改正について、国会で審議され6月決定、

12月施行予定のようだが、詳細は省令等で決まるため十分注視して行く。

2) 平成15年1月度の販売額状況は、全電池で前年比109%、二次電池で同111%、鉛電池で同105%と好調であった。継続するよう各社の健闘を期待。

3) EUROBAT(欧州蓄電池協会)との代表者会議を、今年4月18日に開催予定。今回はEUROBATから6名の代表者が来日、日本の鉛5社代表者と工業会関係者出席の基で情報交換と共通テーマの検討を行う。

3. 各委員会活動報告と次年度活動計画審議

1) 自動車用電池委員会

・ 下部組織の需要予測、直需、市販、技術サービス各小委員会からの活動結果と次期計画案が報告された。自動車補修用鉛電池の需要予測を3～4月に速報として出すよう指示があった。

2) 産業用電池委員会

- ・ 現在再資源化関係の申請作業を進めている。密閉型(制御弁式)電池を始めとし産業用鉛電池全体のリサイクルが主要課題である旨の報告があった。
- ・ 小形二次電池部会傘下の小形シール鉛分科会は、提案のとおり平成15年4月から二次電池部会産業用鉛電池リサイクル分科会の組織へ業務移管する。

3) 技術委員会

- ・ 標準化に関する活動が活発、国際規格との整合性をさらに進めるとともに国際規格に日本案を反映させるために、積極的な活動を継続する。
- ・ Eメールの活用等で会議運営の効率化を図る。

4) EV用電池委員会

財団法人 日本電動車両協会(JEVA)から依頼された規格に関する業務を推進、次年度も継続する。

5) PL委員会

- ・ 最近バス・トラック・タクシー等のプロユーザー車両でのバッテリー爆発事故が増加しており、国土交通省へ報告するとともに、プロユーザー向けパンフレットを作成し、各協会へ啓発活動を展開中である。

6) 資材委員会

- ・ 再生鉛の取扱いと回収費・解体費について継続審議している。新リサイクルスキーム作りに関し、リサイクラーとの協議が必要。

7) 広報委員会

- ・ 需要促進のキャンペーン展開、爆発防止の液面点検啓発、さらに新リサイクルのPR広報等を次年度も展開活動して行く。

8) 二次電池部会平成15年度事業計画

- ・ 平成15年度は新リサイクルシステム広報が必要となるため環境対応費が大幅増加となる。
- ・ 平成15年度の活動計画案及び予算案とも二次電池部会承認された。

4. 自動車用鉛電池 新リサイクルプログラムの審議

- ・ 第三者機関に関する諸問題のまとめ方、及び第三者機関設立準備委員会の組織と担当業務について審議が行われた。
- ・ 部会決議として、新リサイクルプログラムの検討事項が多いため、第三者機関設立準備委員会WGと自動車用鉛電池リサイクル特別プロジェクトは、業務を分担して推進する。また部会は毎月1回開催し、審議事項を速やかに決定して行く。

第26回 小形二次電池部会開催

平成15年3月11日、機械振興会館において林部会長を議長に、第26回小形二次電池部会が開催された。

冒頭に、林部会長から挨拶があり、続いて木村専務理事から事務局報告、そして各委員会委員長から平成14年度活動報告と平成15年度活動計画案の審議が行われた。

1. 林部会長挨拶

部会活動は環境でスタートし、エンドも環境の雰囲気である。ビジネス環境も大きく変化し2002年は、リチウム電池も持直した。海外シフトや海外勢の伸長が顕著で、小形二次電池の工業会における比率は半分強であり、この動きはこれからも大変重要な意味を持つ。



2. 事務局報告

- 1) 改正廃掃法は、国会上程の過程にあり12月施行予定だが、詳細は省令等で決まるため十分注視して行く。
- 2) 電池業界は、平成14年4月度～平成15年1月度までの前年比が、数量で136%、金額で108弱と単価の下落がひどい状況にある。
- 3) 超小型燃料電池・調査研究の対応経過と国内動向について概況報告があった。

3. 各委員会活動報告と次年度活動計画審議

1) 業務委員会

- ・2002年第4Q及び年間の販売実績と海外生産分の出荷実績が報告された。
- ・主要機器業界の動向に基づき、2005年までの需要予測の紹介があった。

2) 技術委員会

- ・7分科会活動と共通課題等について進捗状況が報告された。
- ・安全性ガイドライン策定WGは、当初の目的達成により解散するとともに、新たな組織的対応が必要な「IEEE対応WG」を設置する旨、提案があり審議の結果了承された。

3) 海外環境委員会

- ・平成14年度活動結果と次年度計画の報告。
- ・欧州情報として、廃棄電池の管理に関する新

たな考え方の表明があり、海外環境委員会で検討取りまとめすることになった。

4) PL委員会

- ・平成14年度活動結果と次年度計画の報告。
- ・リチウムイオン電池の改造防止に関する掲載記事の作成依頼を技術委員会へ行き、広報委員会とあわせて啓発活動を行う。

5) 国連対応委員会

12月以降の活動状況と2007年までの取組み課題について報告。

6) 広報委員会

平成14年度活動ビデオの紹介があった。15年度は、正しい使い方とリサイクルPRについて再資源化推進センターとさらに連携をとって活動する。

7) 再資源化委員会

平成14年度活動結果と次年度計画の報告。また傘下にある小形シール鉛分科会については、同種電池である二次電池部会へ業務移管する提案がなされ、審議の結果了承された。

8) 小形二次電池部会平成15年度事業計画

活動計画案及び予算案とも部会承認された。

9) 部会長交代

林部会長(ジーエスメルコテック(株))退任に伴い中谷氏(三洋電機(株))を新部会長に推薦した結果、全員異議なく承認された。

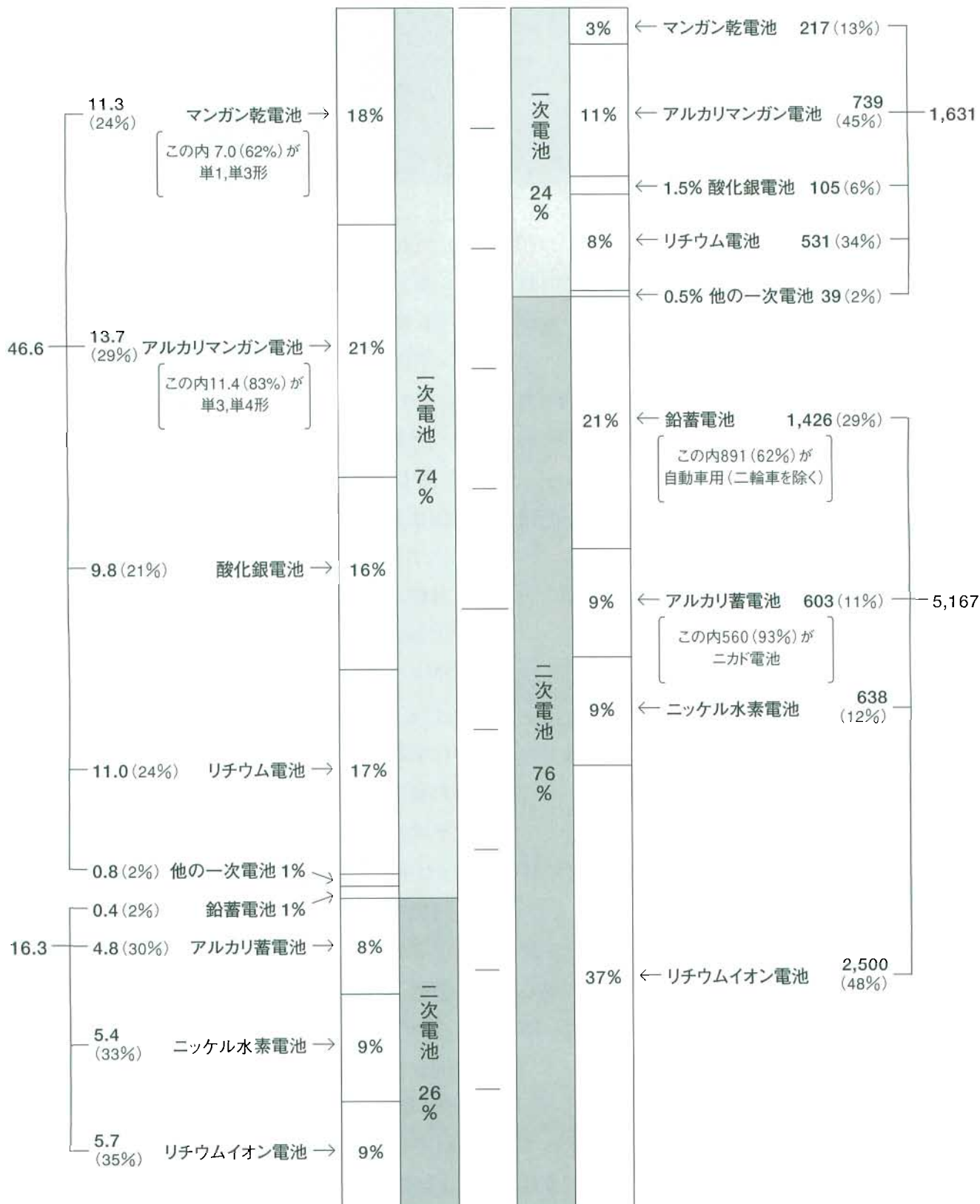
電池の総生産 (2002年)

総数 62.9億個

総数 6,798億個

単位：億個

単位：億円



業界動向

***水素供給システム** 機械、エネルギー各社が燃料電池自動車向けの水素供給ステーションの実用化に向け技術開発に乗り出す。新日鉄はコークスを作る際に出る余剰水素ガスの転用を、荏原は太陽光発電の活用を考えている。(2月1日付 日経)

***小泉首相** 施政方針演説でカメラ付携帯電話、液晶テレビ、食器洗い機を新三種の神器と指摘、内需拡大による景気回復に期待を示す。(2月1日付 電波)

***旭化成** リチウムイオン電池用二成分系ポリオレフィンセパレーターの生産ラインを守山支社で新設。10月から稼働へ。(2月3日付 化学工業日報)

***YUASA** 10月から2005年3月末にかけて高槻事業所(大阪府)の生産機能をすべて小田原事業所に移す方針を決める。(2月3日付 日刊工業)

***カメラ映像機器工業会(CIPA)** デジカメ画像をパソコンに介さず印刷するダイレクトプリントの標準規格を策定した。(2月5日付 電波)

***三洋電機** リチウムイオン電池を内外4拠点で増設、7月を目処に3,300万個体制に。(2月5日付 化学工業日報)

***荏原** 2004年度に商用機500台を目処に販売する家庭用燃料電池の開発計画を纏める。(2月5日付 日経産業)

***FDK** アルカリ乾電池Gシリーズの性能を20~30%以上大幅にアップした新製品を4月1日から発売する。(2月6日付 化学工業日報)

***環境省&経済産業省** 使用済み自動車の解体、破砕業の廃棄物処理法に基づく業許可の取得状況、年間処理台数などの実態が両省の調査で明らかになった。両省では、同調査に加え、全国の関係者を対象に実施したヒアリング結果を踏まえ自動車リサイクル法の施工に向けた検討を進める。(2月6日付 日刊工業)

***松下電池工業** 三菱樹脂の生分解プラスチックフィルムを乾電池包装用新型プリスターバックに採用する事を決定した。(2月7日付 化学工業日報)

***フジクラ** 2005年を目処に、低価格の太陽光発電パネルを製品化する。中味は酸化チタンのナノ粒子を応用した色素増感型のパネルを開発、従来品に比べ製造コストの半減を目指す。(2月7日付 日経産業)

***三井物産** カーボンナノチューブを中小企業に無償提供し、独創的な新製品の開発に乗り出す。(2月7日付 電波)

***エディオン(家電専門店)** 乾電池、電球など家電消耗品の独自ブランドを、今春から発売する。(2月7日付 日経)

***ジョンソン&ジョンソン** 介護用品分野に参入、今年後半からはパワーアシスト式車椅子の販売を開始へ。(2月7日付 化学工業日報)

***水素の高圧貯蔵技術** トヨタ自動車など日米欧と韓国の自動車大手6社は、燃料電池車の燃料となる水素の貯蔵技術を共同で開発すると発表した。(2月8日付 日経)

***東芝電池** 今月からサブライチエーションマネジメント統合基幹業務ソフトを導入、電池製品の短納期化と在庫の大幅削減等への取り組みを開始する。(2月7日付 化学工業日報)

***ソニー** カメラ付携帯電話の撮影部に用いる電荷結合素子(CCD)の生産を開始する。(2月8日付 日経)

***三洋電機** 大容量単3形ニッケル水素電池に対応した業界最速の、1時間で充電ができる充電器を開発した。(2月8日付 電波)

***キャノン** 2004年度中にも、製造を完全自動化することで、カメラやプリンターなどの低価格品の生産を中国から日本に戻す予定。(2月9日付 日経)

***ホンダ** 開発した超低公害車「FCX」を米国初の排ガスゼロの水素燃料電池車に米国政府が認定したと発表した。(2月12日付 日経)

***松下電池工業** ミニマム2,000mAhの大容量と大電流放電等を実現したニッケル水素電池単3形を、4月1日から発売する。(2月12日付 電波&日刊工業)

***ゼネラルモーターズ(米)** 燃料電池車の燃料である水素を、700気圧で貯蔵できるタンクを世界で初めて開発した。タンクの高圧化で水素の貯蔵量が増加できるため、一回の充填での走行距離は約二倍になる。(2月12日付 日経)

***高圧水素貯蔵システム** FC自動車の燃料となる高圧水素の貯蔵システムで700気圧の実用化に向け、トヨタ自動車、ダイムラーライプラー等世界の7自動車メーカーが、鋼管ドラム等をプロジェクトパートナーに国際基準の策定の構築に乗り出した。(2月12日付 日刊工業)

***YUASA** 今夏を目処に、インドネシアにある自動車・二輪車用鉛蓄電池の生産合併会社への出資比率を現在の40%から70%程度に引き上げる。(2月12日付 日刊工業)

***土壌汚染対策法** 同法が2月15日から施行される。同法は有害物質で地下水や土壌が汚染され、人の健康に被害を与える恐れがある場合、都道府県知事が土地所有者に汚染土壌の除去を命じる事が出来る。(2月14日付 日刊工業)

***NECTーキン** 中国・アモイでのリチウムイオン電池の生産を3月にもリチウムイオン電池全体の約4割にまで拡大する。(2月13日付 化学工業日報)

***ソニー** 中国でのリチウムイオンポリマー電池を年内目処に月産300万個体制に引き上げる。この増強によりポリマーの生産能力は、同社のリチウムイオン電池全体の約4割にまで拡大する。(2月13日付 化学工業日報)

***シャープ&NECTーキン** 加熱するだけで簡単に液晶テレビなどの家電製品を解体できる次世代リサイクル技術の実用化に向け本格的に動き出した。本件は経済産業省・製造科学技術センターの委託事業として進められる。(2月13日付 化学工業日報)

***松下電池工業** デジカメ専用の単3形ニッケルマンガン電池の販売を大幅に拡大する。全世界で2003年度は2002年度(実績見込み)の二倍に当たる4,200万個の販売を目指す。(2月13日付 日刊工業)

***家電リサイクル(EU)** 使用済みの家電や電子機器のリサイクルをメーカーに義務付ける欧州連合(EU)の新法(EU指令)が、2月13日発行した。(1月30日付 日経産業)

***セイコーエプソン** 乾電池の漏液対策に最適なディテクターICの販売を開始した。当面の生産個数は月10万個。(電波、日刊工業&日経産業)

***エコチャレンジ(徳島)** オープンスポーツカータイプの一人乗りの電気自動車を開発した。フル充電で50~70kmの走行が可能。(2月17日付 日刊工業)

***東芝電池** 年内を目処に中国に次ぐ二番目のマンガン乾電池の海外生産拠点展開に乗り出す方針を固めた。(2月17日付 化学工業日報)

***燃料電池車普及活動(米)** 大々的に広報活動を始めた「フリーダム・フェノール計画」は商標登録問題から、「ハイドロジェン・フューエル計画」に名称が変更になった。(2月18日付 日経・夕刊)

***三洋電機** 2005年度に予定の家庭用燃料電池の市販開始に向け、研究開発体制を強化、課題となっている製造コスト等への取り組みを強化。(2月19日付 日刊工業)

***ソニー** アルカリ乾電池、マンガン乾電池などの一次電池で攻勢をかける。年内にシェア10%台へ。(2月20日付 化学工業日報)

***日鉱金属** 亜鉛加工の工程を同和鉱業と三菱マテリアルに委託する。日鉱は自社の設備を休止、加工事業から撤退する。(3月22日付 日経)

***三菱重工業&大阪大学** 3月に研究開発分野で包括提携する。燃料電池や航空機エンジン等全ての分野が対象で、基礎研究から応用開発まで一貫した協働体制を整える。(2月24日付 日経)

***日本貿易振興会(ジェトロ)** 中国で模倣品の被害を受けている日系進出企業の4割が製造元の中国企業に対し損害賠償請求等の民事訴訟を検討している事を明らかにした。(2月24日付 日経)

***ネット家電統一規格** インターネットに接続して遠隔操作が出来る家電の通信規格が決まり、3月中に東芝の製品が最初の規格認定を受ける。引き続き、松下、日立製作所なども新規格に基づいた製品の売出しを計画中で、本規格は、アジア業界標準を目指す。(2月25日付 朝日)

***経済産業省** 半導体事業の復権を目指し2003年度から、実用化・市場化に直結する戦略技術の研究開発「フォーカス21」を推進する。ここでは次世代半導体等5重点施策に130.4億円を投資、成果を企業に転移、海外勢追走を迫る。(2月25日付 電波)

***経済産業省** 3月に純粋電気自動車(EV)の技術動向や普及の可能性を探る検討会を発足させる。2003年度上半期に報告書を纏める。(2月26日付 日刊自動車新聞)

***日本自動車両協会(JEVA)&エンジニアリング振興協会(ENAA)** 燃料電池自動車と複数の燃料供給設備を同時に運用する水素・燃料電池実証プロジェクトを開始する。両者を組み合わせると同時に運用実験するのは世界初。(2月28日付 日刊工業)

***日本電工** 日本重化学工業からマンガン酸リチウム事業を取得、二次電池材料分野に参入する。対象はハイブリットカー等大型分野。(2月28日付 化学工業日報)

***地球環境産業技術研究機構(経済産業省直轄)&シャープ** 生ゴミを原料に微生物を使って水素を作り、発電をする超小型バイオ燃料電池の基礎技術を開発した。数年後の実用化を目指す。(2月13日付 日経)

ガートナー社(米) 今年1~3月期の世界のパソコン出荷台数が前年同期比4.8%増の3,320万台になるとの予測を明らかにした。同社は世界需要が緩やかな回復基調にあると判断中。不確定要因は対イラク戦。(2月20日付 化学工業日報)

***宇部興産** リチウムイオン電池用電解液の生産を一年後目処に倍増へ。(2月25日付 化学工業日報)

平成15年 3月度の電池工業会活動概要

部会	3月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議	7日(金)	廃棄物減量化調査委員会(CJC)	*RoHSの規制物質について日本の使用状況と代替状況の調査
	14日(金)	タイプⅢ環境ラベルWG(産業環境管理協会)	*ISO14025のラベルについて国際規格化に関する方針検討
	17日(月)	日本化学工業協会に対する講演会	*リチウム電池の航空輸送法に対する産業界の運用について
	19日(水)	広報委員会	*2003年度のテーマ内容とスケジュール、及び担当会社の決定
二次電池部会	3日(月)	二次電池PL委員会	*バス・トラック・タクシー協会訪問報告と今後の活動計画
	4日(火)	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車電池(二輪含む)新リサイクルスキーム検討
	5日(水)	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車電池(二輪含む)新リサイクルスキーム検討
	6日(木)	(自)市販小委員会	*新リサイクルスキーム広報について
	6日(木)	二次電池リサイクル(委)拡大事務局会議	*産業用電池新リサイクルスキーム審議・申請準備
	6日(木)	据置アルカリ分科会	*今年度作成したJIS制定案の最終確認。
	7日(金)	用語分科会	*SBA指針「規格票作成マニュアル」制定案のチェック。
	10日(月)	産業用電池小委員会	*産業用電池新リサイクルスキーム審議
	11日(火)	第三者機関設立準備委員会WG	*組織と業務、活動計画
	11日(火)	二次電池リサイクル(委)拡大事務局会議	*産業用電池新リサイクルスキーム審議・申請準備
	12日(水)	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車電池(二輪含む)新リサイクルスキーム検討
	12日(水)	二次電池部会	*平成14・15年度活動結果と計画。自動車電池新リサイクルシステム
	12日(水)	HEV用電池分科会	*ハイブリッド自動車用ニッケル水素電池規格案(寿命試験)のチェック
	13日(木)	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車電池(二輪含む)新リサイクルスキーム検討
	13日(木)	(自)技術サービス小委員会	*昼間点灯アンケート内容。H15年度活動計画
	14日(金)	自動車鉛分科会	*来年度改正JIS(D5301)のRC値とCCA値
	17日(月)	(自)需要予測小委員会	*自動車補修用鉛電池の需要予測速報作成
	17日(月)	EV用電池委員会	*ハイブリッド自動車用ニッケル水素電池規格案(寿命試験)の審議
	18日(火)	電気車鉛分科会	*フォークリフトメーカーとの意見交換会(1月に実施)の宿題事項
	18日(火)	(自)リサイクル特別プロジェクト	*リサイクラー見学・調査
	19日(水)	(自)リサイクル特別プロジェクト	*リサイクラー見学・調査
	19日(水)	据置鉛分科会	*来年度作成のJIS(C 8704-2:制御弁式)改正案の審議方針
	20日(木)	資材小委員会	*共用金型、共通部品の検討
	25日(火)	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車電池(二輪含む)新リサイクルスキーム検討
	25日(火)	自動車用電池委員会	*自動車電池(二輪含む)新リサイクルスキーム審議。需要動向
	25日(火)	36V電池WG	*端子規格化案。自動車技術会42V分科会報告
	26日(水)	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車電池(二輪含む)新リサイクルスキーム検討
	26日(水)	EV鉛分科会	*電気自動車関係SBAの日本電動車両協会規格への変更方針。
	27日(木)	二次電池リサイクル委員会	*各種二次電池リサイクルスキームの作業状況と問題点の審議
	27日(木)	資材、第三者機関、リサイクル特別プロ合同	*現状確認レベル合わせ、業務分担
小形二次電池部会	5日(水)	工場環境委員会	*土壌汚染対策法のまとめ、平成15年度活動計画の審議
	6日(木)	海外環境委員会・幹事会	*平成15年度の計画と部会資料の検討
	11日(火)	小形二次電池部会	*IEEE対応WGの設置、小形シール鉛分科会の業務移管等
	12日(水)	アルカリ分科会	*回収率アップの検討など平成15年度活動計画の審議
	13日(木)	小形シール鉛分科会	*分科会運営(業務移管)について
	13日(木)	ニカド・ニッケル水素分科会	*IEC規格FDIS回答案審議(ニカド単電池、ニッケル水素単電池)他
	14日(金)	リチウムイオン分科会	*回収ルートの調査など平成15年度活動計画の審議
	14日(金)	リチウム二次分科会	*リチウム輸送安全性規格 CDV文書審議、SBA規格見直し審議他
	20日(木)	再資源化委員会	*産業構造審議会ガイドライン対応、平成15年度活動計画の審議
	25日(火)	業務委員会	*平成15年度世界生産予測のまとめなど
	27日(木)	国連対応委員会	*IATA会議の報告と手引き書の英文化検討
一次電池部会	6日(木)	器具委員会/器具技術W	*SBA S1601携帯電灯の初稿の校正等
	17日(月)	PL委員会	*03年度テーマ内容と担当会社の決定。小形二次PLとの合同化討議
	18日(火)	一次電池技術委員会	*H14年度委員会活動総括およびH15年度委員会活動計画の審議
	19日(水)	IEC小委員会	*IEC規格 応用試験、時間公差、IEV用語等の審議
	19日(水)	JIS小委員会	*JIS C 8501(マンガン乾電池)最終改正案の審議
	19日(水)	リチウムWG	*リチウム輸送安全性規格 CDV文書審議
	27日(木)	循環技術委員会	*乾電池処理実験結果報告

.....● 新製品ニュース ●.....

リチウム電池を採用し業界最短時間^{※1}でアイスクリームが作れる 電池式「コードレスアイスクリーマー」を発売 マイコン制御で自動かき混ぜるので面倒なかき混ぜ作業が不要

松下電器産業(株)は、業界最短時間^{※1}で簡単に自分だけのオリジナルアイスクリームが作れる「コードレスアイスクリーマー」を4月1日に発売します。

近年、健康志向が高まる中、家庭で手軽に自分に合わせたお菓子を作りたいというニーズが増えています。その中でもアイスクリームは家庭で作りたいお菓子の上位にあがるにもかかわらず、空気を取り込み口解け良い仕上がりにするため、冷凍庫に入れた後、固まりかけを見計らって取り出し、かき混ぜるといった面倒な作業があるので、手作りは長続きしないという声が多くありました。

また、従来の蓄冷タイプの場合、容器を約8時間予備冷却することが必要でした。

本製品は、低温に強いリチウム電池を採用しているため冷凍庫内で使用でき、混ぜ合わせた材料をボウルに入れ、スイッチを押して冷凍庫に入れるだけで約3時間^{※2}でアイスクリームが出来上がります。マイコン制御により自動かき混ぜるので、時間やかき混ぜるタイミングを気にする必要がなく、また、空気を取り込むので口解けの良いアイスクリームに作り上げます。アレルギー体質の方や、ダイエット中の方でも材料を工夫することで手軽に自分好みのアイスクリームやシャーベットを作る事ができます。

— 特 長 —

1. リチウム電池を採用し、業界最短時間^{※1}で、手軽にアイスクリームが作れる
2. マイコン制御で、自動かき混ぜ、自動停止。空気を含んだ口解けの良いアイスクリームが作れる
3. 週1回のアイスクリーム作りでも約半年間電池交換不要

※1 2003年3月10日現在、家庭用アイスクリームメーカーとして。

※2 冷凍庫内の内容物量や冷凍室の性能により異なります。



電池式「コードレスアイスクリーマー」BH-941
(2003年3月10日 松下電器)

1月度電池および器具販売実績(機械統計)

(平成15年1月)

単位:数量=千個、金額=百万円(本年よりマンガン乾電池の単二がその他に含まれました)

	単 月				1月~当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
電池・器具総合計	435,800	54,173	104%	110%	435,800	54,173	104%	110%
全電池合計	434,957	52,841	104%	110%	434,957	52,841	104%	110%
一次電池計	306,984	10,147	104%	101%	306,984	10,147	104%	101%
マンガン乾電池計	67,313	1,306	82%	82%	67,313	1,306	82%	82%
単一	8,401	416	88%	88%	8,401	416	88%	88%
単三	30,433	436	68%	70%	30,433	436	68%	70%
その他	28,479	454	102%	93%	28,479	454	102%	93%
アルカリ乾電池計	88,877	4,324	115%	104%	88,877	4,324	115%	104%
単三	56,564	2,330	121%	109%	56,564	2,330	121%	109%
単四	17,789	776	102%	88%	17,789	776	102%	88%
その他	14,524	1,218	108%	106%	14,524	1,218	108%	106%
酸化銀電池	69,180	785	99%	96%	69,180	785	99%	96%
リチウム電池	76,841	3,530	127%	106%	76,841	3,530	127%	106%
その他の乾電池	4,773	202	107%	128%	4,773	202	107%	128%
二次電池計	127,973	42,694	105%	113%	127,973	42,694	105%	113%
鉛電池計	3,321	11,553	101%	104%	3,321	11,553	101%	104%
自動車用	2,032	6,667	108%	103%	2,032	6,667	108%	103%
二輪用	389	760	107%	108%	389	760	107%	108%
小形シール	678	811	82%	100%	678	811	82%	100%
その他	222	3,315	107%	104%	222	3,315	107%	104%
アルカリ電池計	69,363	8,729	84%	95%	69,363	8,729	84%	95%
完全密閉式	36,198	4,314	102%	107%	36,198	4,314	102%	107%
ニッケル水素	33,132	4,130	71%	85%	33,132	4,130	71%	85%
その他のアルカリ電池	33	285	206%	92%	33	285	206%	92%
リチウムイオン電池	55,289	22,412	150%	127%	55,289	22,412	150%	127%
器具計	843	1,332	102%	98%	843	1,332	102%	98%
携帯電灯	423	443	86%	105%	423	443	86%	105%
電池器具	420	889	126%	94%	420	889	126%	94%

1月度電池輸出入実績(財務省貿易統計)

(平成15年1月)

単位:数量=千個、金額=百万円(少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります)

	単 月				1月~当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計(輸 出)	232,954	24,286	103%	97%	232,954	24,286	103%	97%
一次電池計	132,665	2,724	105%	94%	132,665	2,724	105%	94%
マンガン	40,015	348	99%	105%	40,015	348	99%	105%
アルカリ	15,157	318	103%	114%	15,157	318	103%	114%
酸化銀	29,304	391	98%	101%	29,304	391	98%	101%
リチウム	46,345	1,608	124%	90%	46,345	1,608	124%	90%
空気亜鉛	1,505	25	57%	48%	1,505	25	57%	48%
その他の一次	339	35	61%	82%	339	35	61%	82%
二次電池計	100,289	21,562	100%	97%	100,289	21,562	100%	97%
鉛蓄電池	276	579	70%	93%	276	579	70%	93%
ニカド	27,547	2,539	96%	94%	27,547	2,539	96%	94%
ニッケル鉄	0	0	0%	0%	0	0	0%	0%
ニッケル水素	23,293	2,523	64%	73%	23,293	2,523	64%	73%
リチウムイオン	38,601	13,982	143%	104%	38,601	13,982	143%	104%
その他の二次	10,571	1,939	122%	97%	10,571	1,939	122%	97%
全電池合計(輸 入)	65,662	4,553	173%	105%	65,662	4,553	173%	105%
一次電池計	61,328	1,434	174%	118%	61,328	1,434	174%	118%
マンガン	14,861	201	144%	143%	14,861	201	144%	143%
アルカリ	43,225	790	187%	140%	43,225	790	187%	140%
酸化銀	109	2	22%	18%	109	2	22%	18%
リチウム	1,059	98	135%	79%	1,059	98	135%	79%
空気亜鉛	657	21	187%	165%	657	21	187%	165%
その他の一次	1,417	322	1204%	87%	1,417	322	1204%	87%
二次電池計	4,335	3,119	153%	100%	4,335	3,119	153%	100%
鉛蓄電池	525	1,616	96%	96%	525	1,616	96%	96%
ニカド	2,506	378	180%	89%	2,506	378	180%	89%
ニッケル鉄	0	0	0%	0%	0	0	0%	0%
ニッケル水素	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウムイオン	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の二次	1,303	1,125	147%	110%	1,303	1,125	147%	110%